

《研究課題名》

頭頸部腫瘍に対する術前塞栓術の有用性と安全性の評価

《研究対象者》

西暦 2011 年 1 月から 2024 年 12 月までに滋賀医科大学医学部附属病院の放射線科で頭頸部腫瘍に対して術前に経カテーテル的塞栓術を施行された方

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方のカルテ情報、画像データを用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

(1) 研究の概要について

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～ 2027 年 3 月 31 日

《研究責任者》 滋賀医科大学 放射線医学講座 茶谷祥平

(2) 研究の意義、目的について

《意義》

頭頸部腫瘍の手術において出血コントロールに難渋することがあり、術前塞栓術は手技時間の短縮や術中出血量の低減に有用である可能性があります。術前塞栓術による合併症や術中出血量を評価することでより効果的で安全な治療を目指すことができます。

《目的》

当院における頭頸部腫瘍に対する術前塞栓術の治療成績及び安全性を評価することです。

(3) 研究の方法について

《研究の内容》

本研究は 2011 年 1 月から 2024 年 12 月までに滋賀医科大学医学部附属病院の放射線科で頭頸部腫瘍に対して術前に経カテーテル的塞栓術を施行された方を対象とする単施設後方視的研究です。

《利用し、又は提供する情報の項目》

血液検査データ、CT や MRI、血管造影等の画像検査データ、診療記録(年齢、原疾患、既往歴、手術歴、内服薬、バイタルサイン、経カテーテル的塞栓術の治療内容、手技関連合併症、塞栓術から外科手術までの期間、手術記録、術中出血量、輸血量、術後合併症)

《情報の管理について責任を有する者》

国立大学法人 滋賀医科大学 学長 上本 伸二

(4) 個人情報等の取扱いについて

本研究を実施する際には、あなたの情報から、あなたを特定できる情報(氏名、生年月日、住所等)を除き、代わりに本研究用のIDを付けることで、その情報が誰のものであるか分からない状態にします。ただし、必要な場合に特定の個人を識別できるように、あなたとIDを結び付けることができるような加工をした情報を残します。尚、加工された情報は、施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

(5) 研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

(7) 利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の情報を本研究に利用(又は他の研究に提供)することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記(8)にご連絡ください。

(8) 本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学 所属 放射線医学講座 氏名 茶谷祥平

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

メールアドレス： chatanis@belle.shiga-med.ac.jp